

# きほく通信

## 日本精武会が署名・募金

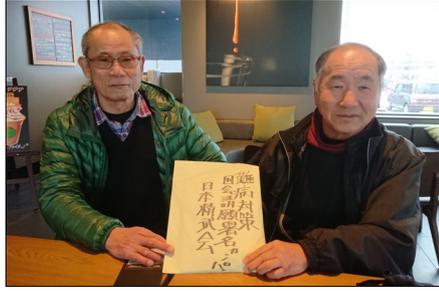
令和2年1月31日



日本精武会は、14年前胡葉丹（上写真）老師が和歌山でムーラン拳と太極拳の教室を開き、その6年後地域社会の健康増進に役立つように中国の伝統的な健身法を紹介する目的で和歌山県に愛好会を作りました。

これが前身となって日本精武会が発足しました。きほくと日本精武会の関わりは、きほくの患者会が設立された際、患者さんで会員であった岡崎真佐美さんの紹介で和歌山県難病団体連絡協議会や、きほくの各種イベントにもご協力いただくようになりました。

その後、例年開催される県主催の人権フェスタでは、会員の舞台演舞終了後、会場での国会請願署名や署名募金などにご協力をいただいています。



この度、日本精武会を代表して大西三郎さんと月森安雄さんが署名173筆とカンパしていただいた募金29,050円をわざわざ届けてくださいました。難病対策に対する深い理解とともに、国会請願署名活動を通じて広く難病啓発活動を実践していただいていることに感謝申し上げます。

## 国会請願署名の締切が近づいてきました

事務局

医療・福祉・介護・年金などの総合的対策を求める国会請願署名の締め切りが近づいてきました。お手元に記入済みの署名用紙があれば事務局までお送りください（すでに送っていただきました方にはありません）。何卒みなさま方のご協力を重ねてお願い申し上げます。



<ホクシア>神森敦子さん絵



<金魚>大塚恒幸さん絵



<小鳥>田中節子さん絵

第81号  
令和2年  
2月1日

難病  
患者家族会  
きほく

【会長】神森和子  
紀の川市中三谷  
【相談室】0736(75)4413  
【事務局】〒649-6612 紀の川市北涌371  
森田方TEL0736(75)4413

会員皆さまの絵画、絵手紙、写真、俳句短歌、詩などの投稿を待っています。